（題字：グース合作）

こぶしの風

こぶし会
ロゴマーク

第30号　発刊：令和元年5月10日　発行：社会福祉法人信濃こぶし会　編集：広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1　電話(0265)35-8511　FAX(0265)35-9016　E-mail:kobushi@dia.janis.or.jp　URL http://kobushikai.or.jp/

ユアサポートぽっぽのお出かけ企画

「藤の花見学」

書:「藤川廣重さん」

「台城公園散策」

「お花見昼食会」

目　次

理事長　新年度あいさつ……2P
こぶしのお宝「パドルダックの緑の庭」……2P
人事異動のお知らせ……2P
法人研修会 個別支援計画を学ぶ　グループホームの在り方検討…3P
春は卒業と入園とお出かけ……4・5P
細きよすが第15報　こぶしの薪作業　ミニ音楽鑑賞会……6P
職場紹介④　利用者さんの横顔……7P
職員の素顔　職員の動き　編集後記……8P

こぶし園から見える豊丘中央保育園

作／鈴木武義さん

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 安心して暮らせる地域をつくるために ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

新年度あいさつ　経営統合、共同化を危惧

理事長　片桐秀人

令和元年度の事業計画予算が、去る3月25日の評議委員会で決定されました。法人全体の事業活動収入は予算ベースで前年比106.8%、それに対し人件費は前年比108.9%で、年々厳しくなっています。この資金活動の書式には施設整備、車両購入、償却費等は含まれていませんので、事業による実質収支はわかりにくい集計になっています。

そこで、毎月の事業活動による収支が判り易いように、法人内の月次試算表は、「事業活動明細書」で事業区分毎お知らせします。また月次試算表は翌月20日頃に出ることから、情報としては「済んだ後」の結果にしかなりませんから、毎月3回発行の「事業計画進捗状況速報」を見て当月の状況を判断して貰いたいと思います。

私の手元では「週刊福祉新聞」を購読しており、4月22日号には、今夏厚労省では「社会福祉法人の経営統合や運営の共同化についてのマニュアル作成」を行うとの記事があります。障がい福祉事業もここまで来たと背筋が寒い感じがします。法人の生き残りを賭けて全員で頑張りましょう。

こぶしのお宝「パドルダックの緑の庭」

パドルダックはお借りしているお家なので、100万を超える絵画があっても、それは私たちの物ではありません。あるかどうかも不明ですが…。

しかし、この家にはみんなを和ませてくれる「緑の庭」があります。様々な鳥が来ます、猫が来て自分ちみたいに寝ています。

春はまずロウバイが芳しい香りを放ちます。それからは多くの花たちが咲き、若葉が次々と芽吹き夏にむかって木々は繁ります。梅雨、雨に濡れる木も葉も苔もしっとりとステキ。夏の暑さには、緑の間を吹き抜ける風が涼しさを運び、秋の落葉にサクサクと足音を聞き、冬、枝になった木に雪が積もります。

鉄筋の大きな学校から帰る子供たちをこの庭が迎え、小さなお家がほんわかと包んでいく、これがパドルダックのお宝ですなあ。

人事異動のお知らせ

3月31日付

【退職】こぶし園指導員　松下広一、第二こぶし園看護師　壬生千菊、同　田村年崇、グループホーム世話人　塩澤さち江

4月1日付

【新採用】こぶし園指導員　小川勇也、同　三島のの佳、第二こぶし園生活支援員　原　璃希、アイビス　唐澤茉実

【正規採用】第二こぶし園生活支援員　小栗恵津子

【異動】あのねっと・すけっと管理者兼パドルダック支援員　池田よし子、パドルダック・アイビス・グース管理者兼あのねっと相談員　古瀬　香、ヘルパーステーション小川管理者兼グループホーム管理者補佐　久保田富子、グループホームサービス管理責任者　春日恵子、ヘルパーステーション小川サービス提供責任者　宮下早苗（すけっと）、すけっとサービス提供責任者　熊谷早苗（ヘルパーステーション小川）、アイビス児童発達支援管理責任者　河合和枝、こぶし園支援員　金子めぐみ（第二こぶし園）、第二こぶし園看護師　平地信子（こぶし園）、ぽっぽ支援員兼あのねっと相談支援専門員　林　知子（グループホーム）、グループホーム世話人　西澤則子（こぶし園）、同　山本貴子（ヘルパーステーション小川）、ヘルパーステーション小川支援員　古田のり子（アイビス）

※（　）内は旧任

法人研修会　個別支援計画を学ぶ

研修委員会では第2回法人研修会を2月16日㈯に開催いたしました。

講師は毎年希望が多く、今回で4年目となる鈴木文治先生をお願いしました。今回は支援の原点『個別の支援計画の意義と活用』についてをテーマに、個別支援計画の意味や作成の仕方、アセスメントのとり方について学びました。

2月～3月は30年度の計画の見直しと31年度の計画を立てるちょうどよい時期での研修となり、参加した多くの職員から「個別支援計画の重要性を改めて考えることが出来た。」「一人で立てるのではなく、多くの視点が入り、情報を共有して統一した支援をすることが必要であることが分かった。」などの声が出ました。また、講義の中で『余暇活動は母子分離や自立につながるものである』とのお話もあり「個性を大切にして　もっと重要に考えなければいけない。」との感想も多かったです。

個別支援計画については支援の基本であり、重要なものであることを多くの職員が改めて感じた研修会となりました。

グループホームの在り方検討

法人内のグループホームはこの4月からパワーすぽっと（定員2名）を加え、全部で6棟、定員30名での運営が始まりました。

新しく加わったパワーすぽっとは、利用者が自分でできることは自分で行い、利用者同士が協力し合う中で自立した生活力を高めていくことを目的に、夜の世話人の泊りは行わず、必要な支援を提供していくこととしています。今まで定員一杯のため実施できなかった緊急時の対応や空室利用のショートステイ、グループホームの体験利用等にも活用することが考えられています。

今までも入所希望の取りまとめや、懇談における聞き取りなど行い今後の利用について検討をしてきた経過はありますが、将来的に入居を希望される方が多く、今すぐ入居を必要とするまでには至っていません。そこで今年度法人ではグループホーム開設検討委員会を設け、長期的展望に立って、今後のグループホームの必要性、形態の在り方など検討を行い、長期計画の中でグループホームの建設を進めてまいりたいと考えています。折を見て調査懇談の機会を作ってまいりますのでご協力をお願いします。

（共同生活援助事業所管理者）

法人車両にロゴ貼付

昨年20周年記念事業で制定された法人のロゴマークについて、このたび大小2種類のシールを作成し、大きいシールについては防水仕様とし、全部の法人車両に貼付することになりました。

こぶし職員駐車場が完成

職員増などから不足気味となっていたこぶし園・第二こぶし園の第3職員駐車場がこのほど完成し、使用が開始されました。これは一昨年購入した中学校テニスコート東の土地を造成したもので、約15台の駐車が可能となりました。

職場までは徒歩で3分ほどかかりますが、これも良い運動です。

喬木駐車場に防犯カメラ設置

最近、喬木の職員駐車場に停めてあった車数台が何者かによって傷つけられるといった事件が2回ほど発生しました。そこで駐車場の様子を24時間体制で監視するため、最新型の防犯カメラを数ヶ所設置しました。撮影データは数日分保存されていますので、もし何かあった場合は早めに喬木事務所に申し出てください。

春は卒業と入

立派に成長しました パドルダックの卒園式

パドルダックでは3月5日に卒園式を行い、4人のお友達が卒園されました。この日はご家族をはじめ、沢山の方がお祝いに駆けつけてくれました。

いつもと違う雰囲気に、少し緊張気味な卒園児さん、大きな拍手の中、ドキドキしながら入場し卒園証書を受け取りました。思い出のDVDが流れると胸がいっぱいになり、涙する場面もありました。保護者の方の挨拶では、皆さんそれぞれに我が子に対する想いを熱く語ってくれました。式の後は、楽しくお喋りしながら、お祝いのお菓子やお弁当を美味しくいただきました。

パドルダックに通い始めた頃は、ママと離れるのが悲しくて泣いていたけれど、今ではすっかり立派なお兄さんお姉さんになりました。子供達の成長の喜びを改めて感じる一日でした。

パドルとアイビス 合同で祝う会

お天気に恵まれた3月20日に、パドルダックとアイビスでは、社会人になる3名の卒業生を含む卒業を祝う会を開き、職員や後輩からのお祝いの言葉をうけ、これからの抱負を一人ずつ伝えてくれました。

後輩へのエールとして、ダンスパフォーマンスを披露したり、事業所での思い出やスタッフへの想いを書いた手紙を事前に用意していた利用者さんもいて、スタッフが涙ぐむ場面もありました。その後は、全員でパプリカを踊った後に、卒業生に喜んでもらおうと用意した手作りドーナッツをはじめとした料理を囲んで思い思いに談笑しました。今度はボランティアとして来るね！そんな言葉に寂しさと嬉しさを感じた日でもありました。

グース 卒業パーティー

3月9日(土)にグースで卒業・進級お祝いパーティーをしました。今年は卒業生からの『ダンスの発表をしたい』との要望から、卒業生をいれた有志のみんなで、EXILEのChooChooTRAINやDAPAMPのUSAなどの曲に合わせてオリジナルダンスをみんなに披露して貰いました。一ヶ月以上前から地道にコツコツと歌やダンスの練習をしていた成果を本番に発揮することが出来、また流行りの曲や楽しいダンスで見ていた子達も大盛り上がりでした。

ダンスの終わりには企画してくれた卒業生から一緒にダンスを踊ってくれたお友達にサプライズプレゼントがあり、ほっこりする場面もありました。

お昼の会食では、朝からみんなで調理をして用意をした焼きそばやサンドイッチなどをバイキング形式で食べたり、豪華な昼食の後にはビンゴ大会をしたりと、卒業生との楽しいひと時を過ごすことができました。

ぽっぽ キッチンカーでお弁当を買う

4月30日、この日のお昼は鼎にある「お食事処夢」さんのキッチンカーが、ぽっぽの玄関前でハンバーグ丼を提供してくださいました。

キッチンカーってなんだろう？ハンバーグ丼？…何しろ初めての試みです。利用者の皆さんはもちろん、スタッフもこの日を楽しみにしていました。

11時にキッチンカーが到着すると「きたよー！」っと言う声があがり、みんな車にくぎづけになりました。そしてスタッフと一緒に一人ずつキッチンカーで作りたてのハンバーグ丼を買いました。この日のお昼は全員おなじ、柔らかくて美味しいハンバーグ丼でした。それもまた素敵だと思いました。

園とお出かけ

こぶし園・第二こぶし園　春の歓迎交流昼食会 マグロの解体ショーと歌謡ショー

4月27日(土)に豊丘村交流学習センターゆめあるてを会場にして、こぶし園と第二こぶし園合同の『春の歓迎交流昼食会』が行われました。

今年も料理人の鎌倉さんがお越し下さり、マグロの解体ショーを見せてくださいました。参加者は、大きなマグロをさばく姿を間近で食い入るように見ていました。今回使われたマグロは大間のマグロで、『マグロの解体桜花盛り』や大鹿村の塩を使った『筍とわかめのすまし汁』など、鎌倉さんと厨房職員が作ってくださった美味しい料理が、デザートも含め6品も並び、お腹いっぱい頂いて皆大満足でした。

また歌手の藤和也さんもお越しいただき、藤和也歌謡ショーが行われました。その中で藤和也さんが歌う関取御嶽海の応援歌『頑張れ御嶽海関！』が披露され、その曲に合わせパッション体操の皆さんが体操を披露してくださいました。そのあとは利用者さんの好きなナツメロを皆で歌ったり、踊ったりして大いに盛り上がりました。

グループホーム　合同余暇は岡谷で買い物

3月2日(土)に今年度3回目のグループホーム合同余暇として、岡谷にあるショッピングモール「レイクウォーク岡谷」へ買い物に行ってきました。参加者は利用者さん、支援員で39名でした。「○○買いたいなあ」「どんなお店があるのかなあ」と初めて行くお店に、皆さん何日も前からワクワクしてこの日を待っていました。

レイクウォーク岡谷に着き、集合時間と場所を決めてから、グループごとの自由行動。広いお店の中を、目当ての物を探して散らばって行きました。昼食もパスタ、丼、ラーメン、たこ焼きなど自由に選んで食べました。そしてエプロン、バック、本、お菓子・・・各々自分の欲しかった物、お家へのお土産を購入され、嬉しそうな笑顔で帰ってきました。

ヘルパーSTミニお出かけ企画　愛知・鞍ヶ池公園へGO

3月29日(金)今年は小さなお出かけ企画を行いました。参加者は利用者さん5名支援員5名の計10名で、愛知県豊田市にある鞍ヶ池公園へ出かけました。

現地までの車内はともに和やかな空気に包まれ、気持ちはウキウキ・ワクワクでした。相席になられた利用者さん同士で笑顔が絶えず、とても賑やかでした。

鞍ヶ池公園は、四季折々の花が楽しめます。公園に到着するとまず素晴らしい眺めと綺麗に整備された園内に感激しながら写真撮影をしました。その後、昼食を済ませ、それぞれ時間の許す限り、広大な敷地を自由に散策し、利用者さん支援員ともに歩いて歩いて汗だくでした。

園内を走る赤色のパークトレインに乗車し、ゆったりとした時間も過ごせ大満足でした。園内には、その他にも観光牧場やプレイハウス・動物園等もあり、満開の桜の季節も見事な眺めなのだろうと思いながら、利用者さんの笑顔がより一層輝いて見える1日となりました。

ぽっぽ　今年の藤は？

ぽっぽでは、5月2日に藤の花見学に行ってきました。残念なことに、今年は阿島の大藤が見学できないという事で豊丘の泉龍院と台城公園のつつじを見学してきました。

三色藤で有名な泉龍院ですが、時期が少々早かったため花丈が短く、これまた残念ではありましたが、おいしいお弁当をゆっくり食べ、台城公園を思いおもいに散策して新緑の季節を満喫できました。

（写真表紙）

細きよすが第15報

「公共トイレ清掃」

官公庁を対象として「優先調達法」という法律が施行されて数年が過ぎています。この法律は、官公庁は福祉関係の事業所に優先してお仕事を提供しなさいというものですが、近隣の町村からいただいたお仕事は様々です。

その中の一つに公園や駐車場などの公共トイレの清掃があり、一ヵ月に２回実施しています。

いただいたお仕事には誠実に取り組んでいます。写真左は、４月の状況で写真右は現在の様子です。綺麗にして備え付けの用品なども整えておくと、トイレを利用される方も上手に使ってくれます。

こぶしの薪作業
南信州特用林産振興会長賞を受賞

長野県地域振興局で毎年実施されている、南信州元気な森づくり賞の森林・林業の部で信濃こぶし会が標記の賞を受賞しました。その主な理由は、こぶし園・第二こぶし園の薪づくりのお仕事が評価されたことと特用林産物の持続的再生産による資源保護の取り組みです。

薪づくりが本格化したのは１年ほど前からで、当時の林務課課長田山氏の提言とご指導によります。今でこそ薪割名人（手割り・機械割り）を始め、運搬・乾燥・配達まで利用者さんの活躍の場がたくさんあるお仕事です。

特用林産物では、正月用の松や山のキノコ、神事に使うサカキなど資源を枯渇させないで、毎年採取できるように山を仕立ててゆく手法が評価されています。

ミニ音楽鑑賞会
奏者はこぶし園小木曽サビ管

3月18日㈪にグース・パドル・アイビスで豊丘村のセミナー棟へ行き、そこでこぶし園の小木曽サビ管にピアノの演奏をして貰いました。

音楽を聴く事が大好きな利用者さんが多く、身近で演奏をして頂ける方を探していたところ、こぶしの風【第22号】の「趣味でピアノを弾く」という小木曽さんの記事がきっかけで、オファーしたところ快く引き受けてくださいました。

童謡の曲からはじまり、アナと雪の女王の【Let It Go～ありのままで～】といった名曲まで披露して貰い、みんなうっとり聴き入っておりました。また演奏に合わせてアイビスの河合支援員がフルートを吹いてくれたり、利用者さん達で持ってきたマラカスや手鈴やギターなどを弾いたり鳴らしたりしてセッションをしました。みんなで音を楽しむ事が出来ました。

こぶし園　こんなに砂糖が!?

2月の「しあわせの会」では、普段飲んでいるジュースには、どのくらいの砂糖が使われているのかクイズ形式で勉強をしました。

お店や自動販売機で見かける○カ・コーラ・・・3gのスティックシュガーが18本分使われているとのこと。皆さん「えぇ～っ！！」と驚きの声が上がりました。また、砂糖のとり過ぎでどんな病気が心配されるのか看護師さんから聞き、「明日から気を付けよう・・・」などの感想が聞こえてきました。

午後はウォーキングに出かけましたが、さっそく自動販売機を使われる方で「気を付けないとだから」とジュースではなくお茶を選んで買う方が多く良い勉強の機会となったかなと思いました。

職場紹介④

新装喬木事務所は連携でバッチリ

ヘルパーステーション小川・グループホーム・グース・あのねっとこぶし　他喬木関係事務全般

喬木支援センター事務所は、ぽっぽ新築移転に伴い手狭だった事務所を一年前に改装し、現在のゆったりしたスペースの中で仕事をしています。

思い返せば改装工事の時は大変でした。1か月の間に2回事務所の移動を余儀なくされたからです。1回は旧ぽっぽへ仮事務所、そして完成後元へ戻す作業でしたが、男性職員が少ない中で「せーの！」と皆で声を掛け合いすべて移動することができました。

現在の事務所には、相談支援が加わり、理事長をはじめ、ヘルパーステーション、グループホーム、グースと複数の事業所の職員１１人が仕事をしています。また、事務所に相談支援が加わったことにより、支援に関しても事務の面に於いても連携が深まり非常に仕事がやり易くなりました。たとえば、利用者さんの状況あるいは受給者証の内容や更新手続き等がスムーズに把握できるようになったからです。そして、複数の事業所が一緒に仕事をしているからこそ、気付かなかったことなどを指摘してもらえる利点もあります。

今後も職員間の連携を保ちつつ「いい職場はいい支援に繋がる」をモットーに努力していきたいと考えています。

利用者さんの横顔

第二こぶし園　上柳貴寛（うえやなぎ たかひろ）さん

いつも面白いことを言ってみんなを笑わせてくれるムードメーカーです。お仕事では毎週水曜日のヤクルト配達で、おじいちゃんおばあちゃんに絵をプレゼントするのが楽しみです。おじいちゃんおばあちゃんも貴寛さんの絵を楽しみに待ってくれていて、嬉しそうに出迎えてくれます。

優しい気持ちを持っていて、困っている仲間がいたら寄り添ってくれます。優しくて思いやりのある貴寛さんが大好きで、貴寛さんの周りにはいつも人が集まってお話を楽しんでいます。

水戸黄門が大好きで、カラオケでは必ず『人生楽ありゃ苦もあるさ～♪』と歌います。水戸黄門といったら上ちゃん!と、皆も貴寛さんを囲んで一緒に歌ってくれます。

これからも、第二こぶし園の仲間と一緒に仲良く働き、楽しい時間を過ごしましょう。

グループホーム　筒井恵（つつい めぐみ）さん

さんらいず喬木を利用されている筒井恵さんです。とても穏やかで、いつもニコニコ笑顔で声をかけてくれます。

お花が大好きで、こぶし園からの帰りにお花を摘んできて、自分で花瓶に生け、他の鉢植えと一緒にお部屋に飾ってあります。

洋服やバック、ネイルなどおしゃれにも関心があり、ファッション雑誌non・noが愛読書です。

ホームに帰ってくると、ゆっくりコーヒーを飲みながら、ニュースで流れていた話題や１日の出来事をいっぱい話してくれます。

職員の素顔

第二こぶし園　森岡陽子(生活支援員)

第二こぶし園にお世話になり4年目になります。農芸班に所属し利用者のみなさんと一緒に畑に出掛け、季節を感じながら作業を行っています。

私の家族は、夫と6年生の娘、3年生の息子の4人家族です。毎日、家事に子育てに仕事にと慌ただしく生活しています。

私は東京出身で独身時代は宝塚や劇団四季などのミュージカルや小劇場などの観劇が大好きでした。今はすっかりご無沙汰ですが、少しでも娘や息子に生の舞台の楽しさを感じて欲しいと、人形劇の盛んなこの地域で、小さな人形劇や舞台を子供達と楽しんでいます。私の小さな夢の1つは、いつか子供たちと一緒にミュージカルを観に行く事。今は「観たいな～」と心の中でつぶやくだけですが、その日の為に家事に子育てに仕事に頑張って行きたいです。

グループホーム　石原依理子(世話人)

はぴねすの世話人としてお世話になり3年目です。

私の趣味は、ダウン症の娘と始めた和太鼓です。小学部に上がる時に『たんぽぽ親子教室』を立ち上げて、今は6家族で毎週日曜日に練習し、お祭りなどで演奏しています。

衣装を手作りしたり、家族ぐるみで焼肉をしたりとみんなで楽しく活動しているので長～く続いています。(笑)

今年の目標は、篠笛が上手くなって着物姿で演奏する事！たんぽぽさんで演奏依頼がくる様に頑張ります!!

職員の動き

こぶし園
(支援員)
小川勇也

4月よりこぶし園で支援員としてお世話になっています。利用者さんが多くの作業を行っていく中で、より仲良くしっかりと働けるように支援させて頂きます。

自分自身も初めての環境でわからないことも多くありますが、先輩方のように信頼される支援員を目指していきます。また、自分自身も作業を通してどんな声掛けがよいか、どうすれば利用者の皆さんが楽しく園生活を送れるか日々考え、努力していければと思います。

こぶし園
(支援員)
三島のの佳

4月よりこぶし園でお世話になっています。

この春に保育系の短大を卒業し福祉の世界に入り、何もかも初めてのことばかりでとても戸惑いました。

作業の内容や一日の生活の流れなど、わからないことばかりで利用者さんや周りの職員さんに教えていただきながら、今は大変ですが充実した毎日を送っています。

これから、よろしくお願いします！

アイビス
(保育士)
唐澤茉実

この4月からアイビスで働かせて頂いております唐澤茉実と申します。就職したての頃は緊張した気持ちでいっぱいでしたが、利用者さん達の屈託のない笑顔と明るさに元気をもらい、今では充実した日々を送っています。

毎日利用者さん達が楽しく安心した時間を過ごせるように、先輩方を見習って多くの事を経験し、早く一人前になりたいと思っています。未熟者ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。

編集後記

5月で新しい年号「令和」に変わりましたね。私自身、平成生まれなので初の時代をまたぐ事となりました。「令和生まれの子から平成生まれは【おじさん】と呼ばれてしまう日がついに来るのか…」と思っていましたが7年前の保育園実習先で子ども達に『おじさんだぁれ？』と呼ばれた事を思い出しました。(当時19歳)
時すでに遅し！
(加藤雅也)